

(参考) 第2期伊勢市環境基本計画 施策推進確認シート

基本目標	大項目	小項目	第2期環境基本計画 事業実績				第3期計画策定に向けて				
			事業名	事業担当課	重点事業	施策推進に係る取組内容				本事業の総括評価 (成果、課題等)	今後の方向性
						平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
1 地球環境に配慮し、資源やエネルギーを大切にすると、循環型社会のまち	1 低炭素社会づくりの推進	1 再生可能エネルギーの導入促進	資源ごみ売却収入	清掃課		・てんぷら油の回収について、広報いせや講習会の場で啓発を行った。 ・回収したてんぷら油について、市内公衆浴場で重油、焚きつけ材にかわる燃料やバイオディーゼルの燃料として、再利用を図った。	・てんぷら油の回収について、広報いせや講習会の場で啓発を行う。 ・回収したてんぷら油について、市内公衆浴場で重油、焚きつけ材にかわる燃料やバイオディーゼルの燃料として、再利用を図る。	・てんぷら油の回収について、広報いせや講習会の場で啓発を行う。 ・回収したてんぷら油について、市内公衆浴場で重油、焚きつけ材にかわる燃料やバイオディーゼルの燃料として、再利用を図る。	・てんぷら油の回収について、広報いせや講習会の場で啓発を行う。 ・回収したてんぷら油について、市内公衆浴場で重油、焚きつけ材にかわる燃料として、再利用を図る。	毎年一定量のてんぷら油を回収でき、市内公衆浴場での燃料として再利用されている。	需要がなくなるまで継続して実施していく。
		太陽光発電普及促進事業	環境課	★	・太陽光発電設備の導入を支援 107件 上限 6万円/件(補助率10%) ・太陽光発電設備の導入を支援 27件 上限 16万円/件(補助率10%)	・太陽光発電設備の導入を支援 6万円/件	・太陽光発電設備の導入を支援 6万円/件	・太陽光発電設備の導入を支援 6万円/件	住宅における太陽光発電設備の導入として、設置可能な既存住宅については概ね設置されたものと思われる。	固定価格買取制度等の国の方針の変化、また、新築住宅における標準化の傾向等を踏まえた見直しを予定。	
	2 次世代自動車の普及促進	・コミュニティバス運行事業 ・自主運行バス運行事業 ・観光交通対策特別会計	交通政策課		・自家用自動車への依存度が高くなっており、マイカーからよりCO2排出量の少ない公共交通機関利用へのシフトを促進した。 ・交通渋滞対策(パークアンドバスライド等)を進め、自動車乗車時間の減少を図り、CO2削減に寄与した。	・自家用自動車への依存度が高くなっており、マイカーからよりCO2排出量の少ない公共交通機関利用へのシフトを促進。 ・交通渋滞対策(パークアンドバスライド等)を進め、自動車乗車時間の減少を図り、CO2削減に寄与する。	・自家用自動車への依存度が高くなっており、マイカーからよりCO2排出量の少ない公共交通機関利用へのシフトを促進。 ・交通渋滞対策(パークアンドバスライド等)を進め、自動車乗車時間の減少を図り、CO2削減に寄与する。	・自家用自動車への依存度が高くなっており、マイカーからよりCO2排出量の少ない公共交通機関利用へのシフトを促進。 ・交通渋滞対策(パークアンドバスライド等)を進め、自動車乗車時間の減少を図り、CO2削減に寄与する。	事業に対するニーズが高まっている中、コミュニティバス利用者数の増加など公共交通機関の利用促進について一定の効果があつた。また、交通渋滞対策(パークアンドバスライド等)を実施し、自動車乗車時間の減少を図り、CO2削減に寄与した。	運転免許証自主返納者の増加など事業に対する市民の意識や関心が高まっているため、今後は、地域公共交通の再編を実施し、事業の充実と公共交通機関への利用促進を図る。また、交通渋滞対策(パークアンドバスライド等)を実施し、自動車乗車時間の減少を図り、CO2削減を図る。	
	—	環境課	★	電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会の参画者と連携し、行動計画「おかげさまAction!」に基づく、次世代自動車の利用促進や充電設備の普及促進、EVを活用した観光キャンペーン等を実施した。	電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会の参画者と連携し、行動計画「おかげさまAction!」に基づく、次世代自動車の利用や充電設備の普及促進、EVを活用した観光キャンペーン等を実施する。	電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会の参画者と連携し、行動計画「おかげさまAction!」に基づく、次世代自動車の利用や充電設備の普及促進を図る。	電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会の参画者と連携し、行動計画「おかげさまAction!」に基づく、次世代自動車の利用や充電設備の普及促進を図る。	協議会参画者の電気自動車の導入、公共機関としての電気バスの導入、電気自動車等を活用した観光ツアーの作成など一定の成果を得て、協議会はH30年度末に解散した。	世界的にもガソリン車から電気自動車へのシフトが加速してきており、引き続き、電気自動車のさらなる普及や、イベント等でPRしていく必要がある。		
	3 省エネルギーの推進	防犯灯LED化推進事業	危機管理課		夜間の犯罪防止のために設置している防犯灯をLED防犯灯へ取替え、LED防犯灯の設置を推進していたため、補助金・助成金を自治会等に交付した。 防犯灯を蛍光灯からLEDに切替することで、電気代を30%程度削減し、CO2排出量を約50%削減できる。省エネルギーの推進に繋げた。	夜間の犯罪防止のために設置している防犯灯をLED防犯灯へ取替え、LED防犯灯の設置を推進していたため、補助金・助成金を自治会等に交付する。 防犯灯を蛍光灯からLEDに切替することで、電気代を30%程度削減し、CO2排出量を約50%削減できる。省エネルギーの推進に繋がる。	夜間の犯罪防止のために設置している防犯灯のLED化を推進するため、自治会へ交付している補助金・助成金の中で、LED防犯灯の設置・取替補助を優遇している。 防犯灯を蛍光灯からLEDに切替することで、電気代を50%程度削減し、CO2排出量を約50%削減できる。省エネルギーの推進に繋がる。	夜間の犯罪防止のために設置している防犯灯のLED化を推進するため、自治会へ交付している補助金・助成金の中で、LED防犯灯の設置・取替補助を優遇している。 防犯灯を蛍光灯からLEDに切替することで、電気代を50%程度削減し、CO2排出量を約50%削減できる。省エネルギーの推進に繋がる。	低炭素化社会実現を目指し、夜間の犯罪防止のために自治会が設置し維持管理している防犯灯のLED化を推進してきた。LEDの高い省エネ性によりCO2排出量削減を図るとともに、LED化により削減できた電気代により、今後の施策・対策を進めていく。	今後も、低炭素化社会実現を目指し、夜間の犯罪防止のために自治会が設置し維持管理している防犯灯のLED化を推進していく。	
	・道路維持補修経費 ・交通安全施設整備事業 ・交通安全施設管理経費	維持課		・倉田山公園に省エネで長寿命光源の照明灯を設置。 ・道路照明施設にLED球を設置及び取替を行った。	・道路照明施設にLED球を設置及び取替を行う。	・道路照明施設にLED球を設置及び取替を行う。	・道路照明施設にLED球を設置及び取替を行う。	維持費の軽減を図ることができ、一定の効果を果たした。	すべての道路照明施設のLED化が完了するまで継続実施		
	伊勢市重度身体障害者サービスセンター	高齢・障がい福祉課		重度身体障害者サービスセンターへ高効率空調を導入した。	【単年度事業のため、28年度以降はなし】	【単年度事業のため、28年度以降はなし】	【単年度事業のため、28年度以降はなし】	H27年度、重度身体障害者サービスセンター「くらら」に高効率空調を導入し、電気使用量が大幅に削減された。H25:198,680kWh、H26:170,448kWh、H27:152,042kWh、H28:83,963kWh、H29:87,770kWh、H30:87,276kWh。	単年度事業のため、28年度以降はなし。管理施設は他になく、導入予定なし。		
	本庁舎改修事業	管財契約課		—	—	伊勢市役所本館の照明器具を全面的にLEDにする。(H29~H30)	伊勢市役所本館の照明器具を全面的にLEDにする。(H29~H30)	第2期で事業完了	事業完了		
	おもてなし推進事業	観光振興課		・観光協会が行ったフォトサイクルイベントに負担金を交付した。	・観光協会が行ったフォトサイクルイベントに負担金を交付	・観光協会が行うフォトサイクルイベントに負担金を交付する。	・観光協会が行うフォトサイクルイベントに負担金を交付する。	・観光協会が行うレンタサイクル乗り捨て実証実験に負担金を交付する。 ・観光協会が行うサイクルマップ作成に負担金を交付する。	平成30年度に実施したレンタサイクル乗り捨て実証実験においては、利用者のニーズを把握できた。	次年度以降の実施についても未定だが、関係機関と協議の上、方向性を決めていきたい。	
	商業活性化推進事業	商工労政課		商店街が設置、維持管理する街路灯等をLED化するにあたり補助金を交付した。	商店街が設置、維持管理する街路灯等をLED化するにあたり補助金を交付	商業団体がグリーンカーテンの設置など環境・省エネ対策事業を行うにあたり補助金を交付	・観光協会が行うレンタサイクル乗り捨て実証実験に負担金を交付する。 ・観光協会が行うフォトサイクルイベントに負担金を交付する。 ・商店街が設置、維持管理する街路灯等をLED化するにあたり補助金を交付	・伊勢市商業魅力アップ支援事業補助金 毎年申請があるものの、快速環境整備事業に対する申請はなかったが、今年度は申請した。商店街街路灯等LED化支援事業補助金 補助金を使わない方法(リース等)により整備を行っている商店街もあり、定期的に需要を把握する必要がある。	・伊勢市商業魅力アップ支援事業補助金 今後も継続していくため、商業団体の動きを注視し、当該補助金の活用を提案していく。 ・商店街街路灯等LED化支援事業補助金 商店街の需要を有無を把握していく。		

(参考) 第2期伊勢市環境基本計画 施策推進確認シート

基本目標	大項目	小項目	第2期環境基本計画 事業実績				第3期計画策定に向けて						
			事業名	事業担当課	重点事業	施策推進に係る取組内容				本事業の総括評価 (成果、課題等)	今後の方向性		
						平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度				
1 地球環境に配慮し、資源やエネルギーを大切にす、循環型社会のまち	1 低炭素社会づくりの推進	3 省エネルギーの推進	エコドライブ普及推進事業	環境課	★	市民向けと市職員向けにエコドライブ講習会を実施した。 (市民向け2回、市職員向け3回)	市民向けと市職員向けにエコドライブ講習会を実施する。 (市民向け3回、市職員向け3回)	市民向けと市職員向けにエコドライブ講習会を実施する。 (市民向け2回、市職員向け3回)	市民及び市職員を対象としたエコドライブ講習会を開催する。 (4年回)	実技講習もある体感型の講座であり、受講者は約25%の燃費改善が見られる。受講後の実践、積み重ねが見込まれれば、大きな効果が期待できる。	引き続き実施する。		
			—	環境課		環境管理システム運用 市役所本庁舎・総合支所等における電気、燃料、用紙等の使用量抑制に努めた。	環境管理システム運用 市役所本庁舎・総合支所等における電気、燃料、用紙等の使用量抑制	環境管理システム運用 市役所本庁舎・総合支所等における電気、燃料、用紙等の使用量抑制	環境管理システム運用 市役所本庁舎・総合支所等における電気、燃料、用紙等の使用量抑制	使用燃料は、車両の燃費向上もあり、年々減少している。電気についても、本庁舎の改修など施設のLED電灯への切替、空調システム更新等により年々減少している。可燃ごみ、事務用紙については、増加傾向にある。	可燃ごみ、事務用紙等について、力を入れて啓発に努めたい。		
	2 3Rの推進	1 廃棄物の発生抑制 (Reduce)	1 廃棄物の発生抑制 (Reduce)	・ごみ減量化容器設置補助金 ・MOTTAINAI推進事業	清掃課	★	・出前講座として、ごみの資源化に関する講座の開催を行う。 ・「ええやんか！マイバグ(レジ袋有料化)検討会において、事業所(スーパーマーケットなど)・市民団体・市が協力して、市内スーパー等のレジ袋有料化、マイバグの持参促進を行い、余分なレジ袋の削減に取り組む。 ・生ごみの減量化のため、生ごみ処理機の購入に要する経費の一部を助成した。 ※家庭用:補助率1/2 3万円上限 ※事業所用:補助率1/2 200万円上限	・出前講座として、3Rに関する講座の開催を行う。 ・「ええやんか！マイバグ(レジ袋有料化)検討会において、事業所(スーパーマーケットなど)・市民団体・市が協力して、市内スーパー等のレジ袋有料化、マイバグの持参促進を行い、余分なレジ袋の削減に取り組む。 ・生ごみの減量化のため、生ごみ処理機の購入に要する経費の一部を助成する。 ※家庭用:補助率1/2 3万円上限 ※事業所用:補助率1/2 200万円上限	・出前講座として、3Rに関する講座の開催を行う。 ・「ええやんか！マイバグ(レジ袋有料化)検討会において、事業所(スーパーマーケットなど)・市民団体・市が協力して、市内スーパー等のレジ袋有料化、マイバグの持参促進を行い、余分なレジ袋の削減に取り組む。 ・生ごみの減量化のため、生ごみ処理機の購入に要する経費の一部を助成する。 ※家庭用:補助率1/2 3万円上限 ※事業所用:補助率1/2 200万円上限	・出前講座として、3Rに関する講座の開催を行う。 ・「ええやんか！マイバグ(レジ袋有料化)検討会において、事業所(スーパーマーケットなど)・市民団体・市が協力して、市内スーパー等のレジ袋有料化、マイバグの持参促進を行い、余分なレジ袋の削減に取り組む。 ・生ごみの減量化のため、生ごみ処理機の購入に要する経費の一部を助成する。 ※家庭用:補助率1/2 3万円上限 ※事業所用:補助率1/2 200万円上限	更新が予定されているごみ処理施設の整備計画にも多大な影響を及ぼすため、燃えるごみの減量は必須の課題となっている。	さらなるごみの減量に向けて、3Rの中でもリデュース(発生抑制)に重きを置いて、食品ロスの削減に関する施策等を継続して事業を実施していく。	
				2 廃棄物の再利用 (Reuse)・再生利用 (Recycle)の推進	・再生資源回収推進事業 ・MOTTAINAI推進事業	清掃課	★	・出前講座として、3Rに関する講座の開催を行う。 ・ごみの減量・資源化、市民の意識向上のため、自治会や子供会などの団体が行う廃品回収に対し、回収した資源の量に応じた奨励金を交付した。	・出前講座として、3Rに関する講座の開催を行う。 ・ごみの減量・資源化、市民の意識向上のため、自治会や子供会などの団体が行う廃品回収に対し、回収した資源の量に応じた奨励金を交付する。	・出前講座として、3Rに関する講座の開催を行う。 ・ごみの減量・資源化、市民の意識向上のため、自治会や子供会などの団体が行う廃品回収に対し、回収した資源の量に応じた奨励金を交付する。	・出前講座として、3Rに関する講座の開催を行う。 ・ごみの減量・資源化、市民の意識向上のため、自治会や子供会などの団体が行う廃品回収に対し、回収した資源の量に応じた奨励金を交付する。 ・燃えるごみに含まれている資源物(特に雑がみ)の分別徹底について啓発活動に取り組む。	更新が予定されているごみ処理施設の整備計画にも多大な影響を及ぼすため、燃えるごみの減量は必須の課題となっている。	さらなるごみの減量に向けて、分別の徹底を図る。特に雑がみの分別の定着化、習慣化を促進させるための事業を実施していく。
				3 廃棄物の適正処理	・伊勢広域環境組合負担金(ごみ) ・不法投棄防止対策推進事業 ・ごみ減量・資源化事業一般経費 ・MOTTAINAI推進事業	清掃課	★	・廃棄物の適正処理のため、伊勢広域環境組合に負担金を支出した。 ・事業系一般廃棄物について、管外搬入がないかごみ搬入検査を行った。 ・ノロウイルスや監視カメラを設置し、不法投棄の監視を行った。 ・廃棄物減量等推進員により、ごみ減量、リサイクルの普及啓発、ごみの分別、出し方の指導等を行う。また、まちづくり協議会に対してそれらの指導を行うように依頼する。	・出前講座として、3Rに関する講座の開催を行う。 ・廃棄物の適正処理のため、伊勢広域環境組合に負担金を支出する。 ・事業系一般廃棄物について、管外搬入がないかごみ搬入検査を行う。 ・ノロウイルスや監視カメラを設置し、不法投棄の防止に係る監視および啓発を行う。 ・廃棄物減量等推進員により、ごみ減量、リサイクルの普及啓発、ごみの分別、出し方の指導等を行う。また、まちづくり協議会に対してそれらの指導を行うように依頼する。	・出前講座として、3Rに関する講座の開催を行う。 ・廃棄物の適正処理のため、伊勢広域環境組合に負担金を支出する。 ・事業系一般廃棄物について、管外搬入がないかごみ搬入検査を行う。 ・ノロウイルスや監視カメラを設置し、不法投棄の防止に係る監視および啓発を行う。 ・廃棄物減量等推進員により、ごみ減量、リサイクルの普及啓発、ごみの分別、出し方の指導等を行う。また、まちづくり協議会に対してそれらの指導を行うように依頼する。	・出前講座として、3Rに関する講座の開催を行う。 ・廃棄物の適正処理のため、伊勢広域環境組合に負担金を支出する。 ・事業系一般廃棄物について、管外搬入がないかごみ搬入検査を行う。 ・ノロウイルスや監視カメラを設置し、不法投棄の防止に係る監視および啓発を行う。 ・廃棄物減量等推進員により、ごみ減量、リサイクルの普及啓発、ごみの分別、出し方の指導等を行う。また、まちづくり協議会に対してそれらの指導を行うように依頼する。	更新が予定されているごみ処理施設の整備計画にも多大な影響を及ぼすため、燃えるごみの減量は必須の課題となっている。	さらなるごみの減量に向けて、3Rの中でもリデュース(発生抑制)に重きを置いて、食品ロスの削減に関する施策等を継続して事業を実施していく。
	産業廃棄物収集運搬処理業務委託	病院総務課		感染性廃棄物、産業廃棄物の適正処理を行った。	感染性廃棄物、産業廃棄物の適正処理	—	感染性廃棄物、産業廃棄物の適正処理	感染性廃棄物、産業廃棄物の適正処理を行った。	引き続き感染性廃棄物、産業廃棄物の適正処理を行う。				
	・医科診療所運営事業 ・歯科診療所運営事業	健康課		医療廃棄物の適正処理を行った。 (休日夜間応急診療所)	医療廃棄物の適正処理 (休日夜間応急診療所)	医療廃棄物の適正処理 (休日夜間応急診療所)	医療廃棄物の適正処理 (休日夜間応急診療所)	医療廃棄物の適正処理 (休日夜間応急診療所)	区分及び収集運搬の許可を得た業者へ委託し、適正に処理した	継続して実施			
	2 豊かな自然を守り、水と緑と人が共生する魅力あるまち	1 自然環境の保全	1 生物多様性の保全	河川災害復旧事業	基盤整備課		護岸ブロックに環境保全型を使用し、植生の早期復元を図った。	護岸ブロックに環境保全型を使用し、植生の早期復元を図る。	護岸ブロックに環境保全型を使用し、植生の早期復元を図る。	河川災害において、環境保全型の護岸ブロックを使用したことにより、植生の復元を図ることができ、河川環境への配慮が行えた。	今後についても、積極的に環境保全型の護岸ブロックを使用、植生の復元に努めていく。		
				—	環境課		企業が実施する生物多様性活動や水生生物による水質調査により、身近な動植物の生息・生育状況等の環境調査を実施した。	企業や住民組織等が実施する生物多様性活動や水生生物による水質調査により、身近な動植物の生息・生育状況等の環境調査を実施する。	企業や住民組織等が実施する生物多様性活動や水生生物による水質調査により、身近な動植物の生息・生育状況等の環境調査を実施する。	企業や住民組織等が実施する生物多様性活動や水生生物による水質調査により、身近な動植物の生息・生育状況等の環境調査を実施する。	企業等と協力して外来生物の駆除・動植物の調査を実施した。水生生物による水質調査を実施し、小学生に動植物の生息状況の調査を実施した。	池干し等を実施して動植物の生息状況の把握をする。	
				衛生一般経費	環境課	★	セアカゴケグモやアライグマ等の外来生物による被害予防に関する情報提供や啓発を広報やホームページ等により実施した。	生息状況の把握と外来生物を除去することを目的にため池の池干しを実施する。	生息状況の把握と外来生物を除去することを目的にため池の池干しを実施する。	河川における生物多様性の保全のため、外来生物の除去を行う。	池干し等以外外来生物の駆除を実施した。	有識者・企業・三重県等と連携し、今後ため池の池干しを実施する予定。	
				宮川流域連携事業負担金	企画調整課		宮川本流、支流等23箇所において水質チェックを実施した。	宮川本流、支流等23箇所において水質チェックを実施	宮川本流、支流等23箇所において水質チェックを実施	宮川本流、支流等23箇所において水質チェックを実施	水質汚濁の防止・改善、および良好な生活環境の確保を目的とした取組として積極的に実施したことで一定の成果を得ている。	宮川流域域ネットワース協議会事務局の事業方針に基づき、内容を調整し、実施する。	

(参考) 第2期伊勢市環境基本計画 施策推進確認シート

基本目標	大項目	小項目	第2期環境基本計画 事業実績				第3期計画策定に向けて							
			事業名	事業担当課	重点事業	施策推進に係る取組内容				本事業の総括評価 (成果、課題等)	今後の方向性			
						平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度					
2 豊かな自然を守り、水と緑と人が共生する魅力あるまち	1 自然環境の保全	2 水環境の保全	調査事業	環境課		伊勢市の公共用水域(河川・海域)における水質の現状値を分析して生活排水対策の資料とした。	伊勢市の公共用水域(河川・海域)における水質の現状値を分析して生活排水対策の資料とする。	伊勢市の公共用水域(河川・海域)における水質の現状値を分析して生活排水対策の資料とする。	伊勢市の公共用水域(河川・海域)における水質の現状値を分析して生活排水対策の資料とする。	公共用水域の測定を実施し、環境基準との比較を行い、現状値の把握を行った。	今後も継続して現状値の把握を行う。			
			河川維持補修経費	維持課		河川堤防法面の除草等を行った。	河川堤防法面の除草等を行う。	河川堤防法面の除草等を行う。	河川堤防法面の除草等を行う。	河川機能を維持し、災害を予防するため、毎年継続して実施する。	継続実施			
			・流域関連公共下水道補助事業費 ・流域関連公共下水道単独事業費	下水道建設課	★	下水道事業計画区域内の整備を進め、普及率の向上を図った。	下水道事業計画区域内の整備を進め、普及率の向上を図る。	下水道事業計画区域内の整備を進め、普及率の向上を図る。	下水道事業計画区域内の整備を進め、普及率の向上を図る。	下水道事業計画区域内の整備を進め、普及率の向上を図る。	計画通り下水道工事を実施し、目標値を達成することができた。	引き続き下水道事業計画区域内の整備を進め、普及率の向上を図る。		
			合併処理浄化槽整備事業補助金	環境課	★	浄化槽の設置に対して補助金を交付した。	浄化槽の設置に対して補助金を交付する。	浄化槽の設置に対して補助金を交付する。	浄化槽の設置に対して補助金を交付する。	浄化槽の設置に対して補助金を交付する。	公共下水道供用済み区域及び大型浄化槽で共同処理をする区域以外の区域において、合併浄化槽の設置を促進するため、浄化槽の設置費用の一部の補助を行った。	今後も継続して合併処理浄化槽の設置に対する補助金を交付する。		
			生活排水対策啓発事業	環境課	★	環境に配慮した食生活の大切さを学ぶことを目的に伊勢市環境会議が東邦ガス㈱と連携してエコクッキングを2回開催した。(参加者…7月:21名、3月:19名)	環境に配慮した食生活の大切さを学ぶことを目的に伊勢市環境会議が東邦ガス㈱と連携してエコクッキングを開催する。	環境に配慮した食生活の大切さを学ぶことを目的に伊勢市環境会議が東邦ガス㈱と連携してエコクッキングを開催する。	環境に配慮した食生活の大切さを学ぶことを目的に伊勢市環境会議が東邦ガス㈱と連携してエコクッキングを開催する。	環境に配慮した食生活の大切さを学ぶことを目的に伊勢市環境会議が東邦ガス㈱と連携してエコクッキングを通して参加者に伝えられた。	伊勢市環境会議が東邦ガス㈱と内春について検討しながら、今後も続けていくことになる。			
			3 自然とのふれあいの増進	宮川流域連携事業負担金	企画調整課		宮川の清流と地域風土にあった環境を守り、次世代に引き継ぐことに寄与するため、小学生等を対象とした自然体験活動を実施した。	宮川本流、支流等23箇所において水質チェックを実施	川などの自然や地域の文化、歴史を体験すると共に、上中下流の子どもたちの交流を目的とした「宮川流域子ども川サミット」や自然を身近なものと感じてもらうために、親子で昔ながらの川遊びを体験する「宮川親子ダイキャンプ」を実施。	川などの自然や地域の文化、歴史を体験すると共に、上中下流の子どもたちの交流を目的とした「宮川流域子ども川サミット」や宮川隆起に関する住民活動への支援事業を行う。	宮川流域ルネッサンス協議会の取組は、20年近く継続しているが、この素晴らしい宮川流域を住民、事業者、行政が協力して次世代に引き継ぐことが課題である	宮川流域ルネッサンス協議会事務局の事業方針に基づき、内容を調整し、実施する。		
	生活排水対策啓発事業	環境課	★	・伊勢市環境会議が主催する勢田川七ヶ大そうじにおいて勢田川沿岸を清掃した。	・伊勢市環境会議が主催する勢田川七ヶ大そうじにおいて勢田川沿岸を清掃する。	・伊勢市環境会議が主催する勢田川七ヶ大そうじにおいて勢田川沿岸を清掃する。	・伊勢市環境会議が主催する勢田川七ヶ大そうじにおいて勢田川沿岸を清掃する。	・伊勢市環境会議が主催する勢田川七ヶ大そうじにおいて勢田川沿岸を清掃する。	・伊勢市環境会議が主催する勢田川七ヶ大そうじにおいて勢田川沿岸を清掃した。参加者は約2,000人となった。	今後も勢田川七ヶ大そうじ、水生生物による野外環境学習を小学生を対象として実施していく。				
				・伊勢市環境会議が主催する水生生物による水質調査といった自然とふれあえる野外環境学習を小学生を対象として実施した。	・伊勢市環境会議が主催する水生生物による水質調査といった自然とふれあえる野外環境学習を小学生を対象として実施する。	・伊勢市環境会議が主催する水生生物による水質調査といった自然とふれあえる野外環境学習を小学生を対象として実施する。	・伊勢市環境会議が主催する水生生物による水質調査といった自然とふれあえる野外環境学習を小学生を対象として実施する。	・伊勢市環境会議が主催する水生生物による水質調査といった自然とふれあえる野外環境学習を小学生を対象として実施した。						
				・勢田川に親しみを持ってもらうための啓発物として「勢田川環境マップ」を作成した。	・伊勢市環境会議が主催する水生生物による水質調査といった自然とふれあえる野外環境学習を小学生を対象として実施する。	・伊勢市環境会議が主催する水生生物による水質調査といった自然とふれあえる野外環境学習を小学生を対象として実施する。	・伊勢市環境会議が主催する水生生物による水質調査といった自然とふれあえる野外環境学習を小学生を対象として実施する。	・伊勢市環境会議が主催する水生生物による水質調査といった自然とふれあえる野外環境学習を小学生を対象として実施した。						
	広域連携事業	観光振興課		・伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会等に負担金を交付した。 ・朝熊ヶ岳参詣マップを作成した。	・伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会等に負担金を交付。	・伊勢志摩国立公園協会及び同国立公園自然ふれあい推進協議会等に負担金を交付	・伊勢志摩国立公園協会及び同国立公園自然ふれあい推進協議会等に負担金を交付した。	類似団体が増えてきていることから、会の改廃も含めて、整理する必要がある。今後の継続課題となっている。	自然体験や自然保護の効果的な推進のため、包括的に伊勢志摩国立公園に関する事業を行う団体の設立などを検討していく。					
	2 公益的機能の保全	1 森林環境の保全	環境保全林整備事業	農林水産課		・間伐による森林の適正管理を行った。	・間伐による森林の適正管理	・間伐による森林の適正管理	・間伐による森林の適正管理	間伐整備することで、保全林・環境林の持つ機能を向上させることができた。	引き続き、年次計画により間伐整備することで、保全林・環境林の持つ機能の向上を図る。			
						2 農地環境の保全	多面的機能支払交付金事業	農林水産課	★	・農業・農村地域における草刈りや・泥上げ等の共同活動や景観形成作物の植栽等の農村環境活動等に対し活動を行っている地域で設立した活動組織に対し支援を行った。	・農業・農村地域における草刈りや・泥上げ等の共同活動や景観形成作物の植栽等の農村環境活動等に対し活動を行っている地域で設立した活動組織に対し支援を行う。	・農業・農村地域における草刈りや・泥上げ等の共同活動や景観形成作物の植栽等の農村環境活動等に対し活動を行っている地域で設立した活動組織に対し支援を行う。	・農業・農村地域における草刈りや・泥上げ等の共同活動や景観形成作物の植栽等の農村環境活動等に対し活動を行っている地域で設立した活動組織に対し支援を行った。	活動組織数が目録値に届かなかった。組織数の増加に向け、推進活動内容の検討が必要。
3 沿岸海域環境の保全						干潟等保全活動支援事業				農林水産課	・漁業者とともに干潟の環境改善を行った。	・漁業者とともに干潟の環境改善を行う。	・漁業者とともに干潟の環境改善を行う	・漁業者とともに干潟の保全活動を行った。
2 豊かな自然を守り、水と緑と人が共生する魅力あるまち	2 公益的機能の保全	3 沿岸海域環境の保全	—	観光振興課	・海水浴場期間前に二見旅館組合主催の二見浦海岸清掃に参加した。		・海水浴場期間前に二見旅館組合主催の二見浦海岸清掃に参加。	・海水浴場期間前に二見町旅館組合主催の二見浦海岸清掃に参加する。	・海水浴場期間前に二見町旅館組合主催の二見浦海岸清掃に参加する。		毎年度継続して実施中。地域住民の参加率も高く、確実に広まってきている。	令和5年度まで継続実施。		

(参考) 第2期伊勢市環境基本計画 施策推進確認シート

基本目標	大項目	小項目	第2期環境基本計画 事業実績				第3期計画策定に向けて						
			事業名	事業担当課	重点事業	施策推進に係る取組内容				本事業の総括評価 (成果、課題等)	今後の方向性		
						平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度				
3 歴史・文化の薫る、快適に暮らせるまち	1 都市・快適環境の向上	1 住環境の向上	空家等対策事業	建築住宅課	★	・空家等対策計画の策定 「空家等対策の推進に関する特別措置法」施行に伴い、「空家等対策計画」を28年度を目標に策定するため、市内の空家実態調査を実施した。	・空家等対策計画の策定 空家調査の結果を踏まえ、「空家等対策計画」を28年度末に策定する。また、計画については、設置する協議会に諮り策定する。	伊勢市空家等対策計画に基づき、空家所有者等に適正な管理を求めていく。また、空家バンクを創設するとともに、県外からの移住を促進し、市内空家の利活用を推進していく。	伊勢市空家等対策計画に基づき、空家所有者等に適正な管理を求めていく。また、空家バンク制度を活用しながら、県内外からの移住及び市内空家の利活用の促進を図っていく。	空家等の除却・管理経済数が目標値を大きく上回ったことから、啓発や指導等において、一定の効果はあったと考える。	市内の空家は、人口減少や少子高齢化に伴い、今後増加が見込まれるため、適正管理及び市内への移住を併せた利活用等の啓発を継続し、空家等対策の推進を図る。		
			調査事業	環境課		伊勢市内の自動車騒音や環境騒音・振動、悪臭の環境測定を実施して、基準値を超えていれば改善指導等を行った。	伊勢市内の自動車騒音や環境騒音・振動、悪臭の環境測定を実施して、基準値を超えていれば道路管理者等へ改善要請を行う。	伊勢市内の自動車騒音や環境騒音・振動、悪臭の環境測定を実施し、基準値を超えていれば道路管理者等へ改善要請を行う。	伊勢市内の自動車騒音や環境騒音・振動、悪臭の環境測定を実施し、基準値を超えていれば道路管理者等へ改善要請を行う。	騒音・振動にかかる環境基準の達成状況の把握ができ、概ね達成していた。	公害法令に基づき、公害監視業務として今後も継続して監視していく。		
			バリアフリーユニバーサルデザインの推進	観光振興課		バリアフリー観光を実現するために、伊勢志摩バリアフリーツアーセンター等が設立したおもてなしヘルパー推進会議に負担金を支出した。	バリアフリー観光を実現するために、伊勢志摩バリアフリーツアーセンター等が設立したおもてなしヘルパー推進会議に負担金を支出する。	バリアフリー観光を実現するために、伊勢志摩バリアフリーツアーセンター等、関係6団体で設立した「伊勢おもてなしヘルパー推進会議」に参画し、伊勢神宮内宮での参拝サービス構築を行った。また、バリアフリー観光の情報発信を行った。	バリアフリー観光を実現するために、伊勢志摩バリアフリーツアーセンター等、関係6団体で設立した「伊勢おもてなしヘルパー推進会議」に参画し、伊勢神宮内宮での参拝サービス構築を行った。また、バリアフリー観光の情報発信を行った。	「伊勢おもてなしヘルパー」の利用実績は年々増えてきており、少しずつはあるが、観光客に認知されつつある状況。ただし、ホームページのアクセス数は減少しており、情報発信について見直しが必要がある。	今後も継続する予定。		
			公園整備事業(防災・安全交付金)	基盤整備課		市の公園施設において、出入口やトイレのユニバーサルデザイン及びバリアフリー化の整備を図る。	市の公園施設において、出入口やトイレのユニバーサルデザイン及びバリアフリー化の整備を図る。	—	—	三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例に基づいた整備が図られた。	令和元年度に事業終了。		
			本庁舎改修事業	管財契約課		—	—	伊勢市役所本館の改修において、ユニバーサルデザイン及びバリアフリー化の整備を図る。(H29～H30)	伊勢市役所本館の改修において、ユニバーサルデザイン及びバリアフリー化の整備を図る。(H29～H30)	第2期で事業完了	事業完了		
			交通施設バリアフリー化事業	都市計画課		—	—	—	—	五十鈴川駅におけるバリアフリー化設備等整備事業を行う鉄道事業者に対し、補助金を交付する。	五十鈴川駅におけるバリアフリー化設備等整備事業を行う鉄道事業者に対し、補助金を交付しバリアフリー化を推進した。	令和2年度まで補助金交付を実施	
		3 美しく潤いのある空間づくり		都市施設維持管理経費	維持課		公園緑地の修繕、清掃、除草、剪定、消毒等を行った。	公園緑地の修繕、清掃、除草、剪定、消毒等を行う。	公園緑地の修繕、清掃、除草、剪定、消毒等を行う。	公園緑地の修繕、清掃、除草、剪定、消毒等を行う。	公園緑地の修繕、清掃、除草、剪定、消毒等を行う。	公園の適正な維持管理のため、毎年継続して実施する。	継続実施
					清掃課		・伊勢市を美しくする条例の周知と市民の環境美化意識の高揚を図ることで、きれいなまちづくりを推進するため、「伊勢市環境会議」と5月30日の「ごみゼロの日」にちなみ、伊勢市駅周辺において早期清掃を行った。 ・広報いせや出前講座及び看板の設置にて、空き缶やたばこの吸殻のポイ捨て防止についての啓発を行った。	・伊勢市を美しくする条例の周知と市民の環境美化意識の高揚を図ることで、きれいなまちづくりを推進するため、毎年行っているごみゼロ早期清掃を伊勢志摩サミット開催に係るイベントと兼ねて行う。 ・広報いせや出前講座及び看板の設置にて、空き缶やたばこの吸殻のポイ捨て防止についての啓発を行う。	・伊勢市を美しくする条例の周知と市民の環境美化意識の高揚を図ることで、きれいなまちづくりを推進するため、毎年行っているごみゼロ早期清掃を伊勢志摩サミット開催に係るイベントと兼ねて行う。 ・広報いせや出前講座及び看板の設置にて、空き缶やたばこの吸殻のポイ捨て防止についての啓発を行う。	・伊勢市を美しくする条例の周知と市民の環境美化意識の高揚を図ることで、きれいなまちづくりを推進するため、毎年行っているごみゼロ早期清掃をインターハイ開催に係るイベントと兼ねて行う。 ・広報いせや出前講座及び看板の設置にて、空き缶やたばこの吸殻のポイ捨て防止についての啓発を行う。	早期清掃に関しては、近年はビッグイベントと併せて実施することにより、市民の環境美化意識の高揚を高めている。	早期清掃に関しては、継続して実施し市民の環境美化意識の高揚を図る。ポイ捨てに関しては、新たに路上喫煙対策についても施策を展開していく。	
				狂犬病予防事業	環境課		・狂犬病予防集合法注射案内時および動物愛護週間時の広報いせを活用したペットの飼い方セミナーの啓発を行った。 ・犬猫不妊去勢手術を行った飼い主に助成金を交付した。(交付件数707件)	・狂犬病予防集合法注射案内時および動物愛護週間時の広報いせを活用したペットの飼い方セミナーの啓発を行った。 ・犬猫不妊去勢手術を行った飼い主に助成金を交付	・狂犬病予防集合法注射案内時および動物愛護週間時の広報いせを活用したペットの飼い方セミナーの啓発 ・犬猫不妊去勢手術を行った飼い主に助成金を交付	・狂犬病予防集合法注射案内時および動物愛護週間時の広報いせを活用したペットの飼い方セミナーの啓発 ・犬猫不妊去勢手術を行った飼い主に助成金を交付	・狂犬病予防集合法注射案内時および動物愛護週間時の広報いせを活用したペットの飼い方セミナーの啓発を行った。 ・犬猫不妊去勢手術を行った飼い主に助成金を交付した。	令和元年6月に動物愛護法が改正され、動物虐待の罰則が大幅に強化されるなど、事業に対する市民の意識や関心が高い状態なので、今後も継続していく。	
				—	環境課		・環境フェア等にて、伊勢の環境文化の発信を行った。 ・三重県のモデル事業として取り組む電気自動車等を活用した取組を県のネットワーク会議を通じて県内他の市町へ情報発信を行う。	・環境フェア等にて、伊勢の環境文化の発信を行う。 ・三重県のモデル事業として取り組む電気自動車等を活用した取組を県のネットワーク会議を通じて県内他の市町へ情報発信を行う。	・環境フェア等にて、伊勢の環境文化の発信を行う。 ・三重県のモデル事業として取り組む電気自動車等を活用した取組を県のネットワーク会議を通じて県内他の市町へ情報発信を行う。	・環境フェア等にて、伊勢の環境文化の発信を行う。 ・三重県のモデル事業として取り組む電気自動車等を活用した取組を県のネットワーク会議を通じて県内他の市町へ情報発信を行う。	・環境フェア等で、毎年継続して伊勢の環境文化の発信を行っている。 ・三重県のモデル事業はH28年度に終了。	三重県のモデル事業はH28年度に終了したが、市で計画を引き継ぎ、取り組みを他市町への発信していきたい。	
						良好な景観の形成	都市計画課		・「伊勢市景観計画」に定める景観形成基準に基づく指導を行った。 ・内宮おほらい町地区と二見町茶屋地区において、建築物の建築等又は工作物の建設等で、伊勢市景観計画に定める重点地区景観形成基準に適合した事業に補助金を交付。 ・景観の絵画及び写真のコンクールの実施により、市民に対し良好な景観形成のための意識啓発	・「伊勢市景観計画」に定める景観形成基準に基づく指導 ・内宮おほらい町地区と二見町茶屋地区において、建築物の建築等又は工作物の建設等で、伊勢市景観計画に定める重点地区景観形成基準に適合した事業に補助金を交付 ・景観の絵画及び写真のコンクールの実施により、市民に対し良好な景観形成のための意識啓発	・「伊勢市景観計画」に定める景観形成基準に基づく指導 ・内宮おほらい町地区と二見町茶屋地区において、建築物の建築等又は工作物の建設等で、伊勢市景観計画に定める重点地区景観形成基準に適合した事業に補助金を交付 ・景観の絵画及び写真のコンクールの実施により、市民に対し良好な景観形成のための意識啓発	・「伊勢市景観計画」に定める景観形成基準に基づく指導 ・内宮おほらい町地区と二見町茶屋地区において、建築物の建築等又は工作物の建設等で、伊勢市景観計画に定める重点地区景観形成基準に適合した事業に補助金を交付 ・景観の絵画及び写真のコンクールの実施により、市民に対し良好な景観形成のための意識啓発	伊勢市景観計画における重点地区で交付要綱に適合した事業に対する補助金の交付や、景観コンクールの実施による景観形成の意識啓発により、良好な景観形成の推進を図った。

(参考) 第2期伊勢市環境基本計画 施策推進確認シート

基本目標	大項目	小項目	第2期環境基本計画 事業実績				第3期計画策定に向けて				
			事業名	事業担当課	重点事業	施策推進に係る取組内容				本事業の総括評価 (成果、課題等)	今後の方向性
						平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
		3 伊勢の環境文化を伝えるおもしろいまち	観光客受入観光創出事業	観光振興課		寄せ植えコンテストを三重県種苗協会と共催した。	— ※開催地が変更	— ※開催地が変更	—	平成27年度、寄せ植えコンテストを三重県種苗協会と共催した。	事業終了
		都市施設維持管理経費	維持課		市民参加による「花のまちづくり」の推進を行った。	市民参加による「花のまちづくり」の推進 ・市民が公共用地的花壇等に四季折々の植栽を行う。	市民参加による「花のまちづくり」の推進 ・市民が公共用地的花壇等に四季折々の植栽を行う。	市民参加による「花のまちづくり」の推進 ・市民が公共用地的花壇等に四季折々の植栽を行う。	花のあるまちづくりを推進するため、毎年継続して実施する。	継続実施	
4 協働でつくる、人と環境にやさしいまち	1 環境教育・環境学習の充実	1 ESDに基づいた環境教育・環境学習の充実	—	学校教育課		全小中学校による学校環境デー(6月5日)の取組 ・環境教育、環境安全の取組、環境集会、環境ウォークラリーの実施 ・省エネルギーの取組(節電・節水の推奨、緑化活動) ・リサイクル活動のためのアルミ缶回収の実施 ・学校、地域ごとの清掃、河川清掃の実施 ・環境安全活動に取り組む地域企業の出前講座等の活用を行った。 伊勢市環境会議による出前講座を実施した。 総高危険18類にスマイトンボの学習と生息地の保護活動を行った。 松林保全のための植樹活動を行った。	全小中学校による学校環境デー(6月5日)の取組 ・環境教育、環境安全の取組、環境集会、環境ウォークラリーの実施 ・省エネルギーの取組(節電・節水の推奨、緑化活動) ・リサイクル活動のためのアルミ缶回収の実施 ・学校、地域ごとの清掃、河川清掃の実施 ・環境安全活動に取り組む地域企業の出前講座等の活用を行った。 伊勢市環境会議による出前講座の実施 ・総高危険18類にスマイトンボの学習と生息地の保護活動 ・松林保全のための植樹活動	全小中学校による学校環境デー(6月5日)の取組 ・環境教育、環境安全の取組、環境集会、環境ウォークラリーの実施 ・省エネルギーの取組(節電・節水の推奨、緑化活動) ・リサイクル活動のためのアルミ缶回収の実施 ・学校、地域ごとの清掃、河川清掃の実施 ・環境安全活動に取り組む地域企業の出前講座等の活用 伊勢市環境会議による出前講座の実施 ・総高危険18類にスマイトンボの学習と生息地の保護活動 ・松林保全のための植樹活動	全小中学校による学校環境デー(6月5日)の取組 ・環境教育、環境安全の取組 ・省エネルギーの取組(節電・節水の推奨、緑化活動) ・リサイクル活動のためのアルミ缶回収の実施 ・学校、地域ごとの清掃、河川清掃の実施 ・環境安全活動に取り組む地域企業の出前講座等の活用 伊勢市環境会議による出前講座の実施 ・総高危険18類にスマイトンボの学習と生息地の保護活動 ・松林保全のための植樹活動	・小中学校においては、家庭や地域と連携して環境デーや環境教育の取組を進めている。 ・出前講座の活用については、環境教育や環境安全等の理解を深めることができ、一定の成果がある。しかし、企業や関係機関等の実施数や受け入れ規模が影響することもある。	・各小中学校における環境教育の実施については令和5年度まで継続実施の予定。 ・出前講座については、地域企業だけでなく、関係機関等も含め活用していきたい。
		2 環境教育等を推進する体制づくり	—	学校教育課		・環境安全活動に取り組む地域企業の出前講座等の活用 ・太陽光発電のしくみの学習、河川環境の保全活動などを行った。 伊勢市環境会議による出前講座を実施した。	・環境安全活動に取り組む地域企業の出前講座等の活用 ・太陽光発電のしくみの学習、河川環境の保全活動など ・伊勢市環境会議による出前講座の実施	・環境安全活動に取り組む地域企業の出前講座等の活用 ・太陽光発電のしくみの学習、河川環境の保全活動など ・伊勢市環境会議による出前講座の実施	・環境安全活動に取り組む地域企業の出前講座等の活用 ・太陽光発電のしくみの学習、河川環境の保全活動など ・伊勢市環境会議による出前講座の実施	地域の特色に応じて、地域や企業・関係機関等と連携しながら、海や河川などの保全活動などを実施している。	今後も、環境教育等の推進のために、地域や企業・関係機関等と連携できる体制づくりを進めていくことが大切である。
	環境教育推進事業	環境課	★	民間事業者や大学と連携し、小中学生を対象に環境教育の出前講座等を実施した。	民間事業者や大学と連携し、小中学生を対象に環境教育の出前講座等を実施する。	民間事業者や大学と連携し、小中学生を対象に環境教育の出前講座等を実施する。	民間事業者や大学と連携し、小中学生を対象に環境教育の出前講座等を実施する。	民間事業者や大学と連携し、小中学生を対象に環境教育の出前講座等を実施する。	環境教育の出前講座等は、実施した児童、先生にも好評いただいている。 一部講座は申込制限の必要もでてきており、実施体制やメニューの充実が求められている。	講座内容の質的向上、提供企業等の新規開拓等により充実を図る。	
	2 環境保全活動の推進	1 市民団体による環境保全活動の推進	環境課		民間事業者と連携し、小学生を対象にキッズISO14000プログラムを実施し、家庭において環境に配慮した生活スタイルを実践いただいた。	民間事業者と連携し、小学生を対象にキッズISO14000プログラムを実施し、家庭において環境に配慮した生活スタイルを実践いただく。	民間事業者と連携し、小学生を対象にキッズISO14000プログラムを実施し、家庭において環境に配慮した生活スタイルを実践いただく。	民間事業者と連携し、小学生を対象にキッズISO14000プログラムを実施し、家庭において環境に配慮した生活スタイルを実践いただく。	家庭で2週間実施するプログラムであり、効果的な取組の為に家庭の協力も必要となる。家族が一纏めに実施できるような工夫、呼びかけを考慮が必要がある。	引き続き実施する。	
	2 事業者による環境保全活動の推進	—	商工労政課		伊勢市産業支援センターにおいて、市内事業者向け、環境マネジメントシステムに関するセミナー等の情報発信を行った。	伊勢市産業支援センターにおいて、市内事業者向け、環境マネジメントシステムに関するセミナー等の情報発信を行う。	—	—	環境活動の重要性を認識し、職場での環境管理の進め方を理解していただいた。	事業者による環境保全活動の推進に取り組む。	
	2 環境保全活動の推進	2 事業者による環境保全活動の推進	—	環境課		企業が実施する生物多様性活動や清掃活動に参加・協力し、地域活動等への協力を推進した。	企業・住民組織等が実施する生物多様性活動や清掃活動に参加・協力し、地域活動等への協力を推進する。	企業・住民組織等が実施する生物多様性活動や清掃活動に参加・協力し、地域活動等への協力を推進する。	企業・住民組織等が実施する生物多様性活動や清掃活動に参加・協力し、地域活動等への協力を推進する。	企業・地域活動への活動支援を行ったが、ごく一部の企業・地域しか活動しておらず、活動範囲を広げてより多くの方に生物多様性に対する意識向上が図れるが課題。	継続実施
4 協働でつくる、人と環境にやさしいまち	2 環境保全活動の推進	3 市民・事業者・行政の連携・協働	きれいなまちづくり推進事業 ・生活排水対策事業 ・衛生一般経費	清掃課 環境課	★	伊勢市環境会議に、環境啓発に係る事業実施のための負担金を支出し、活動を推進した。	伊勢市環境会議に、環境啓発に係る事業実施のための負担金を支出し、活動を推進する。	伊勢市環境会議に、環境啓発に係る事業実施のための負担金を支出し、活動を推進する。	伊勢市環境会議に、環境啓発に係る事業実施のための負担金を支出し、活動を推進する。	伊勢市環境会議に、環境啓発に係る事業実施のための負担金を支出し、活動を推進する。	今後も伊勢市環境会議に、環境啓発に係る事業実施のための負担金を支出し、活動を推進していくと共に、体験型・参加型の「出前授業」等を定着化させ、さらなる市民意識の定着化・習慣化を図っていく。
		環境フェア等開催事業	環境課		環境フェアの開催 市内の環境団体・事業者等により、環境取組の紹介や啓発活動を行った。 ※伊勢志摩国立公園指定70周年記念事業として開催予定	環境フェアの開催 市内の環境団体・事業者等により、環境取組の紹介や啓発活動を行う。	環境フェアの開催 市内の環境団体・事業者等により、環境取組の紹介や啓発活動を行う。	環境フェアの開催 市内の環境団体・事業者等により、環境取組の紹介や啓発活動を行う。	毎年、多くの来場者があり、環境について触れ、考える良い機会となっている。		

(参考) 第2期伊勢市環境基本計画 施策推進確認シート

基本目標	大項目	小項目	第2期環境基本計画 事業実績						第3期計画策定に向けて		
			事業名	事業担当課	重点事業	施策推進に係る取組内容				本事業の総括評価 (成果、課題等)	今後の方向性
						平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
3 環境情報の受発信の強化			—	商工労働課		伊勢志摩サミットおもてなし会議(市民・事業者と連携)によるクリーンアップ活動を行った。	伊勢志摩サミットおもてなし会議(市民・事業者と連携)によるクリーンアップ活動の実施	—	—	伊勢志摩サミットおもてなし会議(市民・事業者と連携)によるクリーンアップ活動をH27.28年度のみ実施。	事業終了
			—	環境課		キャンドルナイト伊勢の開催 親水機会の提供、河川浄化啓発等のため、勢田川沿岸にキャンドル(約1万個)を灯した。	キャンドルナイト伊勢の開催 親水機会の提供、河川浄化啓発等のため、勢田川沿岸にキャンドル(約1万個)を灯す。	—	—	H28年度までキャンドルナイト伊勢を実施。親水機会の提供、河川浄化啓発等のため、勢田川沿岸にキャンドル(約1万個)を灯した。	事業終了
	1 環境情報の収集・分析	—	環境課 清掃課		伊勢商工会議所環境委員会と連携し、環境に関する情報の共有等を行った。	伊勢商工会議所環境委員会と連携し、環境に関する情報の共有等を行う。	伊勢商工会議所環境委員会と連携し、環境に関する情報の共有等を行う。	伊勢商工会議所環境委員会と連携し、環境に関する情報の共有等を行う。	継続して伊勢商工会議所環境委員会と連携し、環境に関する情報の共有等を実施できた。	伊勢商工会議所環境委員会だけでなく、今後も環境に関する情報やデータを収集・把握すると共に、現況や今後の展望についての分析を実施していく。	
		衛生一般経費	環境課	★	生物多様性に関する研修による職員の人材育成及び他機関の情報収集及び連携を図るために、環境省環境調査研修所において実施された自然環境研修に参加した。	生物多様性に関する研修への参加により職員の人材育成及び他機関の情報収集及び連携を図る。	生物多様性に関する研修への参加により職員の人材育成及び他機関の情報収集及び連携を図る。	生物多様性について、有識者との情報共有を行う。また、環境フェアにおいて啓発ブースを出展し、情報発信を行う。	池干し等により外来生物の駆除を実施した。	有識者・企業・三重県等と連携し、今後もため池の池干しを実施する予定。	
	2 環境情報の発信・活用	—	環境課		・市HP・広報いせ等を活用し、情報発信の強化を行った。 ・環境フェア等の市内イベントにおいて環境啓発・情報発信等を行った。	・市HP・広報いせ等を活用し、情報発信の強化を行う。 ・環境フェア等の市内イベントにおいて環境啓発・情報発信等を行う。	・市HP・広報いせ等を活用し、情報発信の強化を行う。 ・環境フェア等の市内イベントにおいて環境啓発・情報発信等を行う。	・市HP・広報いせ等を活用し、情報発信の強化を行う。 ・環境フェア等の市内イベントにおいて環境啓発・情報発信等を行う。	市HP・広報いせなどを通じて情報発信しており、環境フェア等のイベント集客数の多さからも、一定の成果が得られていると考えられる。	引き続き実施する。	